



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美

執行役員

問合せ先責任者 (役職名) 事業支援本部副本部長 (兼) (氏名) 廣川 正彦 (TEL) 03-6711-8121

I R広報グループリーダー

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	432,545	4.4	43,245	△2.8	44,795	△7.0	44,042	△0.4
2024年3月期第3四半期	414,276	2.4	44,487	21.7	48,171	21.1	44,209	49.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 46,446百万円(△19.3%) 2024年3月期第3四半期 57,565百万円(86.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	160.30	—
2024年3月期第3四半期	155.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	861,559	395,527	44.0	1,413.85
2024年3月期	839,169	375,410	42.8	1,303.21

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 379,172百万円 2024年3月期 359,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	7.5	60,000	△3.8	60,000	△12.3	51,000	△8.7	184.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	276,942,682株	2024年3月期	286,942,682株
2025年3月期3Q	8,758,266株	2024年3月期	11,126,529株
2025年3月期3Q	274,755,844株	2024年3月期3Q	284,457,934株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、景気の緩やかな持ち直しの動きが続いたものの、各国の金融政策の影響、中国経済の低迷、物価上昇、ウクライナ・中東情勢の影響など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

当社グループの主要市場でも需要の回復傾向がみられ、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、徹底したコストダウンなどを実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,325億45百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は432億45百万円（同2.8%減）、経常利益は447億95百万円（同7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は440億42百万円（同0.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物をマテリアル事業セグメントからスマート事業セグメントへ、液晶保護フィルム用の酢酸セルロースをスマート事業セグメントからマテリアル事業セグメントへ移管しています。前年同期比較については、前年同期の数値を移管後のセグメントに組み替えて比較しております。

[メディカル・ヘルスケア事業]

ライフサイエンス事業は、キラルカラム用充填剤の販売が減少したものの、インドでの受託分取の増加などにより、増収となりました。

コスメ・健康食品事業は、インバウンドの増加などにより健康食品素材の販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、108億88百万円（前年同期比3.7%増）、販売製品構成差や販売数量増加に伴う経費の増加などにより、営業利益は3億65百万円（同59.8%減）となりました。

[スマート事業]

ファンクショナルプロダクツ事業は、カプロラクトン誘導体の中国市場での需要回復などによる販売数量の増加、エポキシ化合物の液晶パネルや電子材料向けの需要回復による販売数量の増加により、増収となりました。

アドバンステクノロジー事業は、半導体材料市場の回復による電子材料向け溶剤、レジスト材料の販売数量増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、284億73百万円（前年同期比13.3%増）、利益面では、原料価格の上昇や販売数量増加に伴う経費の増加などにより、営業損失5億55百万円（前年同期は営業損失2億90百万円）となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などのモビリティ事業は、日本市場における自動車メーカーの認証不正問題や中国市場での日系自動車メーカーの不調の影響を受け販売数量が微減となったものの、為替の影響や原材料費などの販売価格転嫁により、増収となりました。セイフティ事業全体では、2024年3月に民生用装弾事業の子会社を売却した影響などもあり、微増収となりました。

当部門の売上高は、727億77百万円（前年同期比0.1%増）、北米拠点の生産性改善やコストダウンなどにより、営業利益は30億54百万円（同28.1%増）となりました。

[マテリアル事業]

アセチル事業の酢酸は、主要誘導品の酢酸ビニルや高純度テレフタル酸の需要が引き続き低調であることに加え、原料（一酸化炭素）プラントの初期トラブルにより販売調整を実施したことで販売数量が減少し、減収となりました。

アセテート・トウは、堅調な需要が継続しているものの、一部顧客の在庫調整の影響などにより販売数量が減少し、減収となりました。

ケミカル事業の酢酸セルロースは、液晶パネル市場が調整局面に入った影響により偏光板向けの販売数量が減

少しものの、アセテート・トウ原料向けなどの販売数量が増加し、増収となりました。

その他のケミカル製品は、需要の低迷や酢酸原料（一酸化炭素）プラントの初期トラブルによる販売調整により酢酸エチルの販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

当部門の売上高は、1,291億62百万円（前年同期比2.4%減）、販売数量の減少や減価償却費の増加などにより、営業利益は191億16百万円（同34.4%減）となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチック株式会社の事業は、自動車や産業機器向け、電子材料向けなどの販売数量の増加、為替の影響などにより、増収となりました。

水溶性高分子、包装フィルム、AS樹脂などダイセルミライズ株式会社の事業は、2024年7月から樹脂コンパウンド事業を持分法適用会社ノバセル株式会社へ移管したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、1,868億28百万円（前年同期比10.2%増）、販売数量の増加などにより、営業利益は205億59百万円（同69.6%増）となりました。

[その他]

その他部門は、水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業の販売増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、44億14百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は7億4百万円（同232.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し223億90百万円増加し、8,615億59百万円となりました。

負債は、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比し22億72百万円増加し、4,660億31百万円となりました。

また純資産は、3,955億27百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,791億72百万円となり自己資本比率は44.0%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,183	78,864
受取手形及び売掛金	114,413	111,793
棚卸資産	182,510	186,048
その他	39,426	36,660
貸倒引当金	△52	△78
流動資産合計	409,481	413,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	69,024	89,744
機械装置及び運搬具（純額）	118,249	131,153
土地	36,547	36,425
建設仮勘定	79,871	71,938
その他（純額）	5,257	5,614
有形固定資産合計	308,949	334,876
無形固定資産		
のれん	85	75
その他	10,687	10,683
無形固定資産合計	10,773	10,758
投資その他の資産		
投資有価証券	80,023	71,642
繰延税金資産	2,394	2,864
退職給付に係る資産	13,977	14,267
その他	13,602	13,891
貸倒引当金	△33	△29
投資その他の資産合計	109,964	102,635
固定資産合計	429,688	448,270
資産合計	839,169	861,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,184	61,770
短期借入金	31,758	37,369
短期社債	27,000	19,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	16,291	22,270
未払法人税等	6,378	8,341
修繕引当金	—	3,559
その他	55,191	53,063
流動負債合計	208,804	225,374
固定負債		
社債	90,000	70,000
長期借入金	124,741	141,260
繰延税金負債	23,128	19,506
役員退職慰労引当金	36	37
修繕引当金	1,344	30
環境対策引当金	102	1
退職給付に係る負債	2,710	2,913
資産除去債務	1,198	1,214
その他	11,691	5,691
固定負債合計	254,954	240,656
負債合計	463,758	466,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	0	0
利益剰余金	233,664	248,283
自己株式	△15,895	△12,035
株主資本合計	254,045	272,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,319	36,798
繰延ヘッジ損益	△14	△17
為替換算調整勘定	53,371	62,060
退職給付に係る調整累計額	8,723	7,806
その他の包括利益累計額合計	105,399	106,648
非支配株主持分	15,964	16,354
純資産合計	375,410	395,527
負債純資産合計	839,169	861,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	414,276	432,545
売上原価	298,031	311,422
売上総利益	116,244	121,123
販売費及び一般管理費	71,757	77,877
営業利益	44,487	43,245
営業外収益		
受取利息	1,102	912
受取配当金	1,574	1,496
持分法による投資利益	1,570	1,935
為替差益	132	—
その他	1,180	1,256
営業外収益合計	5,560	5,602
営業外費用		
支払利息	1,258	1,346
為替差損	—	548
社債発行費	2	2
和解金	—	1,200
その他	614	954
営業外費用合計	1,875	4,052
経常利益	48,171	44,795
特別利益		
固定資産処分益	31	25
投資有価証券売却益	11,229	9,717
関係会社株式売却益	—	4,553
特別利益合計	11,260	14,296
特別損失		
固定資産除却損	620	684
事業整理損	—	1,106
特別損失合計	620	1,790
税金等調整前四半期純利益	58,812	57,300
法人税、住民税及び事業税	11,533	13,879
法人税等調整額	2,654	△1,252
法人税等合計	14,188	12,626
四半期純利益	44,623	44,674
非支配株主に帰属する四半期純利益	413	631
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,209	44,042

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	44,623	44,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,937	△6,520
繰延ヘッジ損益	△43	△2
為替換算調整勘定	10,209	8,821
退職給付に係る調整額	△422	△920
持分法適用会社に対する持分相当額	261	394
その他の包括利益合計	12,942	1,772
四半期包括利益	57,565	46,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,716	45,291
非支配株主に係る四半期包括利益	849	1,155

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用前と比較して、前連結会計年度の「繰延税金負債」が549百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより「利益剰余金」が549百万円増加しております。なお、1株当たり情報において、前連結会計年度の「1株当たり純資産額」が2円00銭増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,496	25,124	72,723	132,364	169,538	410,247	4,028	414,276	-	414,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	5,406	-	2,790	187	8,393	10,279	18,672	△18,672	-
計	10,505	30,530	72,723	135,154	169,726	418,641	14,307	432,949	△18,672	414,276
セグメント利益又は損失(△)	909	△290	2,385	29,148	12,121	44,274	212	44,487	-	44,487

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,888	28,473	72,777	129,162	186,828	428,130	4,414	432,545	—	432,545
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	92	—	8,984	136	9,213	10,652	19,865	△19,865	—
計	10,888	28,565	72,777	138,147	186,964	437,343	15,067	452,411	△19,865	432,545
セグメント利益 又は損失(△)	365	△555	3,054	19,116	20,559	42,540	704	43,245	—	43,245

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間において、従来「マテリアル」に含めていたカプロラクトン誘導体、エポキシ化合物を、「スマート」に変更し、「スマート」に含めていた液晶保護フィルム用の酢酸セルロースを、「マテリアル」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	23,251百万円	30,201百万円
のれんの償却額	47百万円	13百万円